

## 令和8年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年5月15日

上場会社名 株式会社日本一ソフトウェア 上場取引所 東  
 コード番号 3851 URL https://www.nippon1.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猿橋健蔵  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 平岡三知 TEL 058-371-7275  
 定時株主総会開催予定日 令和8年6月25日 配当支払開始予定日 令和8年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 令和8年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和8年3月期の連結業績（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和8年3月期	3,606	△31.9	△409	—	△55	—	△255	—
令和7年3月期	5,299	△0.8	△274	—	△75	—	△157	—

(注) 包括利益 令和8年3月期 89百万円 (—%) 令和7年3月期 △194百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
令和8年3月期	△50.51	—	△3.3	△0.5	△11.3
令和7年3月期	△31.08	—	△2.0	△0.7	△5.2

(参考) 持分法投資損益 令和8年3月期 ー百万円 令和7年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和8年3月期	11,267	7,945	69.4	1,546.17
令和7年3月期	11,154	7,868	69.6	1,533.44

(参考) 自己資本 令和8年3月期 7,823百万円 令和7年3月期 7,759百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
令和8年3月期	49	△1,222	△41	4,183
令和7年3月期	404	△225	471	5,195

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
令和7年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	25	—	0.3
令和8年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	25	—	0.3
令和9年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00		7.6	

### 3. 令和9年3月期の連結業績予想（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,789	124.2	193	—	274	—	205	—	40.71
通期	4,784	32.6	296	—	449	—	331	—	65.53

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

令和8年3月期	5,151,100株	令和7年3月期	5,151,100株
令和8年3月期	90,856株	令和7年3月期	90,856株
令和8年3月期	5,060,244株	令和7年3月期	5,059,002株

(参考) 個別業績の概要

1. 令和8年3月期の個別業績（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和8年3月期	839	△40.8	△462	—	△264	—	△354	—
令和7年3月期	1,419	△6.5	△299	—	△218	—	△382	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
令和8年3月期	△70.13	—
令和7年3月期	△75.64	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和8年3月期	3,872	2,894	71.6	548.05
令和7年3月期	4,275	3,257	73.7	622.25

(参考) 自己資本 令和8年3月期 2,773百万円 令和7年3月期 3,148百万円

2. 令和9年3月期の個別業績予想（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	958	163.6	206	—	178	—	35.33
通期	1,465	74.5	268	—	225	—	44.59

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や政策効果により、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続による個人消費の抑制、中東情勢の影響、米国経済の動向、主要国の金融政策や金利動向などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属するゲーム業界では、eスポーツ市場の発展、モバイルゲーム市場の拡大、デジタル化の進展、クラウドゲームサービスの拡大、VR(仮想現実)及びAR(拡張現実)の技術進化によるゲーム体験の向上、生成AI活用によるゲーム開発の効率化が進み、市場規模は成長し続けております。

このような経営環境の中、当社グループは、当社グループの商品やサービスを通じてゲームという分野に限らず年齢・性別・地域を超えたすべての人々に楽しさを提供し、当社グループに関わるすべての人々が豊かになることを目指してまいります。そのために、「開発力の強化」「販売力の強化」「生産性の向上」に取り組んでまいります。

このような状況の中、エンターテインメント事業におきましては、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの配信に加え、国内で発売されたタイトルの北米・欧州・アジア地域に向けたローカライズ及び販売を行いました。

学生寮・その他事業におきましては、岐阜県内の大学学生寮の運営等を行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高3,606,632千円（前年同期比31.9%減）、営業損失409,156千円（前年同期営業損失274,726千円）、経常損失55,417千円（前年同期経常損失75,025千円）、親会社株主に帰属する当期純損失255,582千円（前年同期親会社株主に帰属する当期純損失157,225千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (エンターテインメント事業)

パッケージタイトルとして、国内では、『風雨来記5』、『連呪』、『凶乱マカイズム』、『Curse Warrior』の4タイトルを発売いたしました。

また、当社子会社であるNIS America, Inc.においては、北米・欧州地域に向けて『Disgaea7 Complete』をNintendo Switch2版で発売いたしました。

その他、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの配信や、北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売を行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高3,485,742千円（前年同期比33.0%減）、営業利益38,195千円（前年同期比81.6%減）となりました。

#### (学生寮・その他事業)

学生寮・その他事業におきましては、学生支援を目的として岐阜県内の大学学生寮3件の運営等を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高120,889千円（前年同期比24.4%増）、営業損失21,869千円（前年同期営業損失34,500千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は11,267,005千円となり、前連結会計年度末に比べ112,807千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末に比べ1,227,386千円の増加）、売掛金及び契約資産の減少（同238,287千円の減少）、仕掛品の減少（同56,291千円の減少）、前払費用の増加（同40,441千円の増加）、貸倒引当金の減少（同19,925千円の減少）によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物及び構築物の増加（同162,303千円の増加）、土地の減少（同53,668千円の減少）、建設仮勘定の減少（同100,602千円の減少）、投資有価証券の減少（同230,491千円の減少）、長期預金の減少（同747,600千円の減少）によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は3,321,830千円となり、同35,816千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加（同15,258千円の増加）、短期借入金の減少（同105,000千円の減少）、リース債務の増加（同19,430千円の増加）、未払金の増加（同150,230千円の増加）、賞与引当金の減少（同12,993千円の減少）、契約負債の増加（同25,065千円の増加）、返金負債の減少（同99,022千円の減少）によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加（同101,395千円の増加）、リース債務の減少（同22,794千円の減少）、繰延税金負債の増加（同9,409千円の増加）によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、7,945,175千円となり、同76,991千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の減少（同280,883千円の減少）、その他有価証券評価差額金の増加（同11,147千円の増加）、為替換算調整勘定の増加（同334,122千円の増加）、新株予約権の増加（同12,604千円の増加）によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は4,183,725千円となり、同1,011,773千円の減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、49,915千円（前年同期は404,148千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失273,442千円、減価償却費120,860千円、減損損失56,822千円、為替差損76,070千円、売上債権及び契約資産の減少248,689千円、前払費用の増加5,849千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,222,846千円（前年同期は225,984千円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出2,416,360千円、定期預金の払戻による収入1,056,790千円、有形固定資産の取得による支出172,804千円、投資有価証券の償還による収入313,229千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、41,715千円（前年同期は471,209千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額105,000千円、長期借入金の借入による収入154,410千円、長期借入金の返済による支出44,350千円、配当金の支払額25,332千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

令和9年3月期の連結業績予想につきましては、下記のように見込んでおります。

売上高	4,784,068千円（前期比32.6%増）
営業利益	296,216千円（前期は409,156千円の営業損失）
経常利益	449,489千円（前期は55,417千円の経常損失）
親会社株主に帰属する当期純利益	331,591千円（前期は255,582千円の親会社株主に帰属する当期純損失）

なお、業績予想は、本資料公表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は業績予想と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、必要な人材の育成、社内のマニュアルや指針等の整備を今後進めてまいる所存です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当連結会計年度 (令和8年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,195,499	6,422,885
売掛金及び契約資産	472,836	234,549
商品及び製品	216,566	237,653
仕掛品	359,535	303,243
前払費用	499,022	539,463
その他	144,636	189,898
貸倒引当金	△19,925	—
流動資産合計	6,868,170	7,927,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,029,034	1,191,338
機械装置及び運搬具（純額）	3,784	2,439
土地	891,075	837,407
建設仮勘定	101,100	498
その他（純額）	206,728	203,144
有形固定資産合計	2,231,723	2,234,827
無形固定資産	39,628	34,302
投資その他の資産		
投資有価証券	1,174,718	944,226
長期預金	747,600	—
その他	92,357	125,953
投資その他の資産合計	2,014,675	1,070,180
固定資産合計	4,286,027	3,339,310
資産合計	11,154,198	11,267,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当連結会計年度 (令和8年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	343,813	359,072
短期借入金	650,000	545,000
1年内返済予定の長期借入金	43,089	51,753
リース債務	14,394	33,824
未払金	110,807	261,038
未払法人税等	81,883	9,632
賞与引当金	86,540	73,546
契約負債	73,042	98,107
返金負債	392,637	293,615
その他	171,093	179,807
流動負債合計	1,967,302	1,905,397
固定負債		
長期借入金	974,410	1,075,805
リース債務	159,188	136,393
退職給付に係る負債	80,986	90,695
繰延税金負債	104,127	113,536
固定負債合計	1,318,711	1,416,432
負債合計	3,286,014	3,321,830
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	568,702	568,702
資本剰余金	558,702	558,702
利益剰余金	5,562,240	5,281,356
自己株式	△56,349	△56,349
株主資本合計	6,633,296	6,352,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33,972	△22,824
為替換算調整勘定	1,160,279	1,494,401
その他の包括利益累計額合計	1,126,306	1,471,576
新株予約権	108,581	121,185
純資産合計	7,868,184	7,945,175
負債純資産合計	11,154,198	11,267,005

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和7年4月 1日 至 令和8年3月31日)
売上高	5,299,892	3,606,632
売上原価	3,348,052	2,067,656
売上総利益	1,951,840	1,538,975
販売費及び一般管理費	2,226,566	1,948,132
営業損失(△)	△274,726	△409,156
営業外収益		
受取利息	180,686	191,053
受取配当金	521	342
為替差益	21,090	168,584
その他	9,936	13,647
営業外収益合計	212,234	373,628
営業外費用		
支払利息	10,842	16,835
その他	1,690	3,052
営業外費用合計	12,533	19,888
経常損失(△)	△75,025	△55,417
特別利益		
新株予約権戻入益	9,837	1,181
固定資産売却益	—	569
特別利益合計	9,837	1,751
特別損失		
固定資産除却損	300	—
投資有価証券評価損	—	1,984
減損損失	—	56,822
役員弔慰金	—	10,000
役員退職慰労引当金繰入額	—	150,970
特別損失合計	300	219,776
税金等調整前当期純損失(△)	△65,488	△273,442
法人税、住民税及び事業税	69,901	23,466
法人税等調整額	21,836	△41,326
法人税等合計	91,737	△17,859
当期純損失(△)	△157,225	△255,582
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△157,225	△255,582

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和7年4月 1日 至 令和8年3月31日)
当期純損失 (△)	△157,225	△255,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,359	11,147
為替換算調整勘定	△60,133	334,122
その他の包括利益合計	△37,773	345,270
包括利益	△194,999	89,687
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△194,999	89,687
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	557,444	547,444	5,744,669	△56,349	6,793,207
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	11,258	11,258			22,517
剰余金の配当			△25,202		△25,202
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△157,225		△157,225
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	11,258	11,258	△182,428	—	△159,911
当期末残高	568,702	558,702	5,562,240	△56,349	6,633,296

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△56,332	1,220,412	1,164,079	127,146	8,084,433
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)			—		22,517
剰余金の配当			—		△25,202
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			—		△157,225
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	22,359	△60,133	△37,773	△18,564	△56,338
当期変動額合計	22,359	△60,133	△37,773	△18,564	△216,249
当期末残高	△33,972	1,160,279	1,126,306	108,581	7,868,184

当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	568,702	558,702	5,562,240	△56,349	6,633,296
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					—
剰余金の配当			△25,301		△25,301
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△255,582		△255,582
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	△280,883	—	△280,883
当期末残高	568,702	558,702	5,281,356	△56,349	6,352,412

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△33,972	1,160,279	1,126,306	108,581	7,868,184
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)			—		—
剰余金の配当			—		△25,301
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			—		△255,582
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	11,147	334,122	345,270	12,604	357,874
当期変動額合計	11,147	334,122	345,270	12,604	76,991
当期末残高	△22,824	1,494,401	1,471,576	121,185	7,945,175

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和7年4月 1日 至 令和8年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△65,488	△273,442
減価償却費	103,698	120,860
減損損失	—	56,822
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	43	△20,118
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,131	△15,193
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,968	9,709
受取利息及び受取配当金	△181,207	△191,396
支払利息	10,842	16,835
為替差損益 (△は益)	15,038	△76,070
固定資産売却損益 (△は益)	—	△569
固定資産除却損	300	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,984
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△252,302	248,689
棚卸資産の増減額 (△は増加)	97,016	45,200
仕入債務の増減額 (△は減少)	146,683	△6,386
前渡金の増減額 (△は増加)	19	△4,681
前払費用の増減額 (△は増加)	643,502	△5,849
前受金の増減額 (△は減少)	4,636	1,161
契約負債の増減額 (△は減少)	△94,217	23,221
返金負債の増減額 (△は減少)	△29,344	△119,193
その他	△135,858	234,426
小計	244,200	46,008
利息及び配当金の受取額	185,841	155,214
利息の支払額	△10,842	△16,835
法人税等の支払額	△15,050	△134,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	404,148	49,915
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△762,400	△2,416,360
定期預金の払戻による収入	762,400	1,056,790
有形固定資産の取得による支出	△227,115	△172,804
有形固定資産の売却による収入	—	570
無形固定資産の取得による支出	△2,775	△5,714
投資有価証券の償還による収入	1,940	313,229
その他	1,966	1,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,984	△1,222,846
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	395,000	△105,000
長期借入れによる収入	141,290	154,410
長期借入金の返済による支出	△42,623	△44,350
株式の発行による収入	13,790	—
リース債務の返済による支出	△11,424	△21,442
配当金の支払額	△24,822	△25,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	471,209	△41,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56,902	202,872
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	592,470	△1,011,773
現金及び現金同等物の期首残高	4,603,028	5,195,499
現金及び現金同等物の期末残高	5,195,499	4,183,725

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、コンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主な事業とし、連結子会社である株式会社楽しみチームでは学生寮事業を展開しております。

当社グループは、これらを基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「エンターテインメント事業」、「学生寮・その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントに含まれる主要品目は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
エンターテインメント事業	家庭用ゲームソフト、関連グッズ、スマートフォン用コンテンツ、著作権の使用許諾収入、他社タイトルの受託開発
学生寮・その他事業	学生寮の運営、上記以外

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,202,715	97,177	5,299,892	—	5,299,892
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,202,715	97,177	5,299,892	—	5,299,892
セグメント利益又は損失 (△)	207,376	△34,500	172,875	△447,602	△274,726
セグメント資産	6,980,949	939,433	7,920,383	3,233,815	11,154,198
その他の項目					
減価償却費	33,813	46,945	80,758	22,939	103,698
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	219,902	142,805	362,707	38,377	401,085

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△447,602千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,233,815千円は、当社及び一部の連結子会社の運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券)、管理部門に係わるものであります。
- (3) その他の項目の減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、当社管理部門に係わるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,485,742	120,889	3,606,632	—	3,606,632
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	3,485,742	120,889	3,606,632	—	3,606,632
セグメント利益又は損失 (△)	38,195	△21,869	16,326	△425,482	△409,156
セグメント資産	7,187,727	1,014,134	8,201,861	3,065,144	11,267,005
その他の項目					
減価償却費	40,876	56,347	97,224	23,636	120,860
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	41,446	128,691	170,137	8,381	178,519

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△425,482千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,065,144千円は、当社及び一部の連結子会社の運用資金 (現金及び預金)、長期投資資金 (投資有価証券)、管理部門に係わるものであります。
- (3) その他の項目の減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、当社管理部門に係わるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
1株当たり純資産額	1,533円44銭	1,546円17銭
1株当たり当期純損失(△)	△31円08銭	△50円51銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△157,225	△255,582
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△157,225	△255,582
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,059,002	5,060,244
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	—
(うち新株予約権)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類 (新株予約権の数1,011個 (普通株式101,100株))	新株予約権2種類 (新株予約権の数2,843個 (普通株式284,300株))

(重要な後発事象)

該当事項はありません。